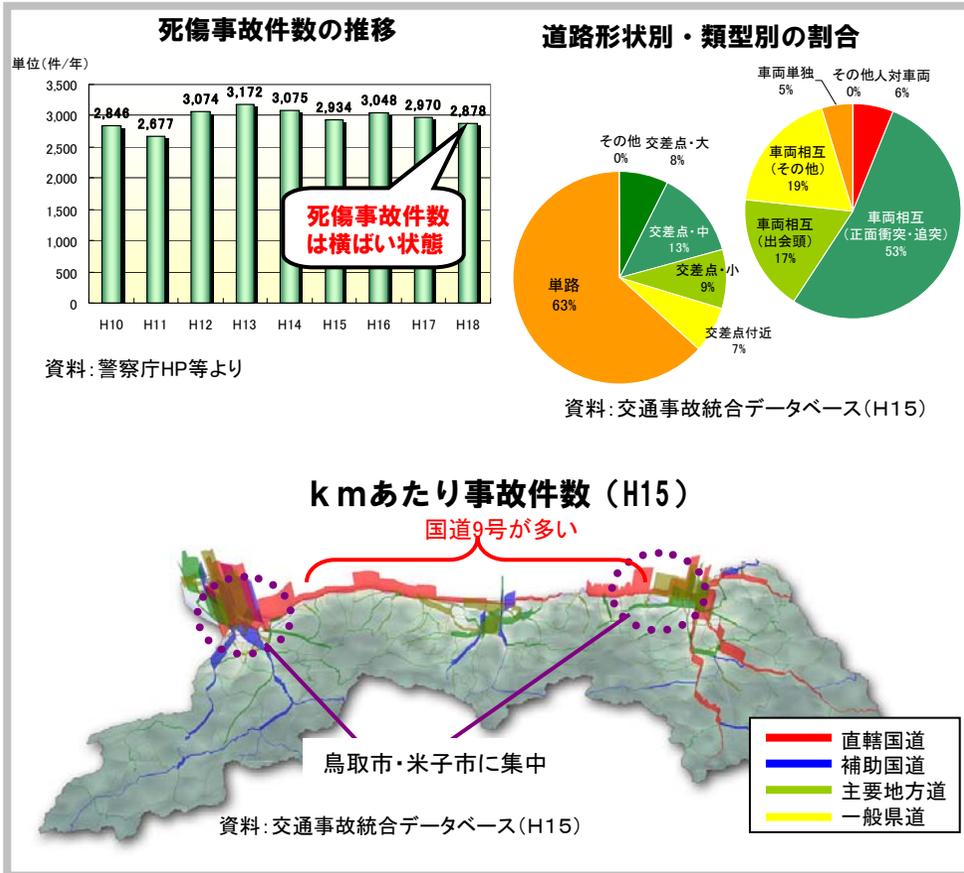


事故が多発している箇所をなくす

死傷事故件数

1 鳥取県の現状

- 近年、鳥取県の死傷事故件数は横ばい状態です。
- 県内の死傷事故は鳥取市や米子市及び2都市を結ぶ国道9号において多発しています。



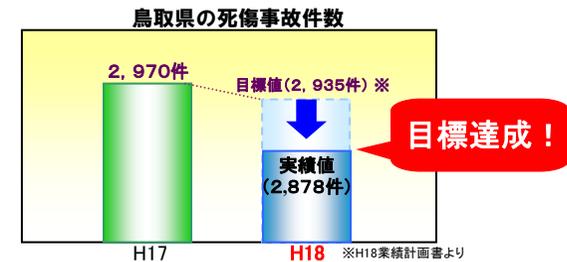
2 昨年度の成果 (達成度報告)

- 平成18年度には、米子道路の無料化を実施し、平行する現道区間の事故を削減しました。
- 更に、国道53号今町1丁目交差点などにおいて、交通事故対策を実施し、事故件数の削減を図りました。

平成18年度実施事業

主体	事業名	事業内容	効果の内容	評価	備考
国土交通省	米子道路無料化	-	交通の分散による事故の減少	◎	P34 参照
国土交通省	国道53号今町1丁目交差点	交差点形状変更等(コンパクト化)	交差点形状変更等による事故減少	◎	P35 参照
国土交通省	国道9号久米町交差点	路面表示等	注意喚起路面表示による事故減少	○	P36 参照
国土交通省	国道9号西福原1丁目交差点	路面表示等	注意喚起路面表示による事故減少	○	P37 参照

◎ : 効果が大きな事例 ○ : 効果がみられた事例 △ : 十分な効果がみられない事例



H18年度

具体事業
の成果

米子道路無料化
～死傷事故が減少～

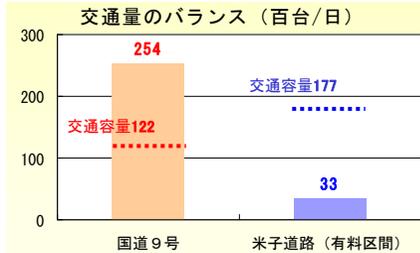
評価



- 事業内容**
- 米子市周辺の東西方向の連絡はもっぱら国道9号に集中し、交通渋滞や事故等の課題が生じています。
 - 一方、国道9号と平行する米子道路は、有料区間の利用が低迷しています。
 - このため、平成18年4月1日、米子道路(米子東IC～淀江IC間)、延長約5kmを無料開放し、国道9号との適切な交通分担を図りました。
- 整備効果**
- 国道9号から米子道路への交通転換により国道9号の事故が減少しました。

Plan 適切な交通分担

■交通が国道9号に集中しているため、米子道路(有料区間)の容量を有効に活用し、交通転換を図り、適切な交通流を実現する施策が有効。



※国道9号はH11、米子道路はH16調査

Action 検証の継続

今後も引き続き、交通事故の発生動向について検証します。

Check 対策の効果検証

無料化後、
死傷事故件数が
約45%減少

※無料化前(H17.4～H18.3)及び無料化後(H18.4～H19.3)の事故件数の比較(国道9号:米子市淀江町今津～米子市二本木地内)

Do 米子東IC～淀江IC間の無料化



具体事業
の成果

国道53号今町1丁目交差点の事故対策
～交差点のコンパクト化等により事故が減少～

H18年度

評価



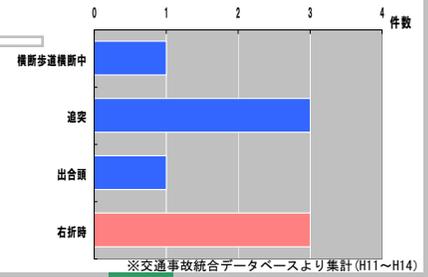
- 事業内容**
- 事故危険箇所である今町1丁目交差点では、追突や右折時の事故が多く発生しているため、横断歩道位置の変更等による交差点のコンパクト化等を行いました。
- 整備効果**
- 対策により事故が減少しました。



Plan 追突・右折時の事故が多発

■追突や右折時の事故が多発しています。
■事故件数の4割削減を目指します。

平成13年～16年までの事故件数 4件 → 目標 4割削減



※交通事故統合データベースより集計(H11～H14)

Action 検証の継続

今後も引き続き、交通事故の発生動向について検証します。

Check 対策の効果検証

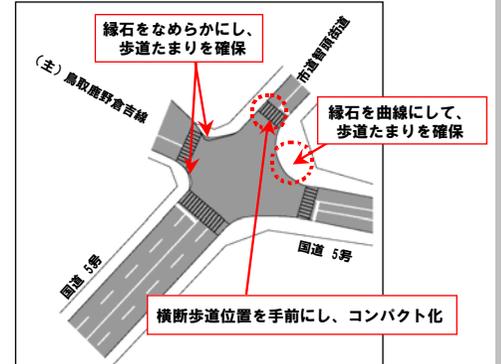
対策後(平成18年)、
事故が発生していません。

対策後 0件

※対策後:H18年

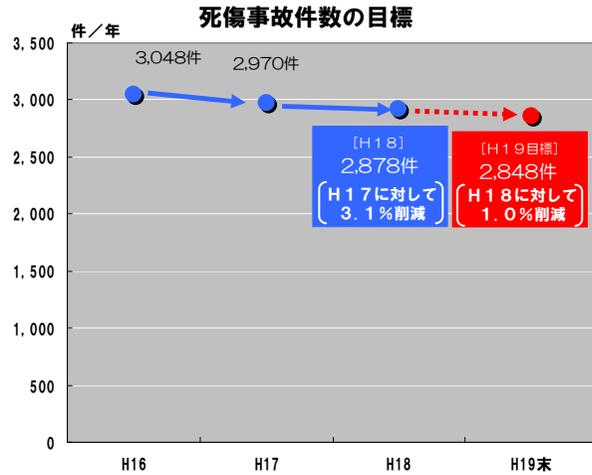
Do 事故特性を踏まえ対策を実施

【対策の概要】



3 本年度のとりくみ（業績計画）

- 平成19年度には、名和・淀江道路、志戸坂峠道路の整備とともに、事故危険箇所・あんしん歩行エリア・事故率の高い箇所の対策を重点的に実施し、事故件数の削減を図ります。
- 事業実施による事故の削減数を30件と設定し、アウトカム指標の目標値は、2,878件から30件を減じた**2,848件**（平成18年値の1.0%削減）とします。



H19年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	施策	備考
国土交通省	名和・淀江道路 ※延伸部を除く	自動車専用道路整備	-
国土交通省	志戸坂峠道路	自動車専用道路整備	-
国土交通省	国道9号 湖山北交差点	路面表示等	あんしん歩行エリア
国土交通省	国道9号 伯耆大山駅入口交差点	交差点改良等	-
国土交通省	その他の交通安全事業 (29箇所)	うち、あんしん歩行エリアに係るもの2箇所 事故危険箇所に係るもの9箇所	-

具体事業の期待される成果

名和・淀江道路の整備 ～交通事故の削減を目指す～

事業内容

- ・当該区間の国道9号の死傷事故率は225件/億台キロで、県平均(25.3件/億台キロ)の8倍以上となっています。
- ・このため、名和・淀江道路の整備に伴う国道9号の交通転換により、交通事故の削減を目指します。

期待される成果

- ・名和・淀江道路の整備により、交通事故の削減を目指します。



DO 名和・淀江道路の整備

計画の概要
 区間：西伯郡大山町下市～
 西伯郡大山町安原
 延長：L=12.1km
 道路規格：第1種 第2級
 設計速度：V=100km/h
 計画幅員：W=23.5m
 車線数：4車線



Check Action

供用後は、死傷事故の発生状況等を踏まえて効果を検証します。

具体事業の期待される成果

国道9号伯耆大山駅入口交差点の事故対策
～交通事故の削減を目指します～

事業内容

- ・当該交差点は、国道9号日吉津橋の西詰にあたり、本線橋梁部と側道、及び市道の合流箇所となっており、交通事故が発生しています。
- ・このため、交差点改良等による事故対策を実施します。

期待される成果

- ・対策により、交通事故件数の削減を目指します。



Plan 追突・右折時の事故が多い

■交差点での停車車両への追突が多く発生

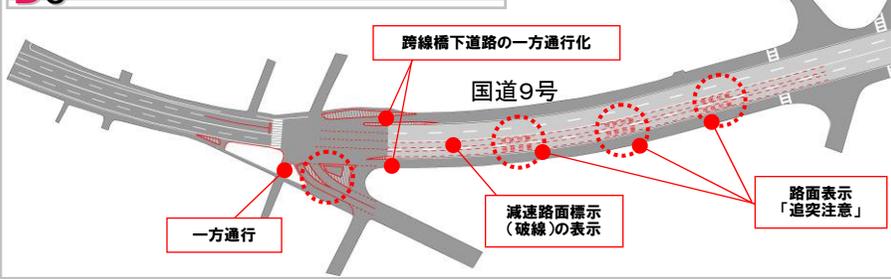
国道9号を走行するドライバーへの注意喚起による速度の抑制が必要！



Check Action

供用後は、死傷事故の発生状況等を踏まえて効果を検証します。

DO 路面表示等による速度抑制



TOPICS ～国道29号八頭町内の住民参加型事故対策～

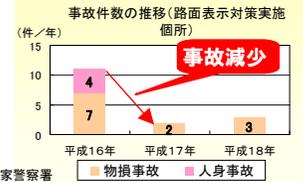
- ・平成17年度に実施した国道29号の事故対策について、地元住民と合同による事後点検と対策効果の検証を行いました。
- ・検証によって効果が確認されたことを受けて、平成18年度には周辺地区に対策エリアを広げ、面的な事故対策に取り組んでいます。

平成17年度の取り組み

警察・地域と連携した合同点検の結果を受けた対策の実施



地元住民による事後点検と対策効果の確認



Plan・Do 線的対策から面的対策へ (国道29号の追加対策も実施)

国道29号沿線エリアを対象を拡大し、平成18年2月、鳥取県八頭地方県土整備局が事務局となり「安心な道整備八頭町・郡家地域協議会」を設置。国道29号を含む対象エリアの道路 (主に歩道) の問題点・課題を検証し、対策を実施。



Check 追加対策の検証

- ・平成18年12月に施工した青色路面標示箇所の対策効果を検証

Action 交差点計画への反映

- ・事故多発区間で計画されている交差点改良計画へ事故対策を反映。(予定)

TOPICS ～国道53号智頭町住民との意見交換会～

・八頭郡智頭町中心部を通過している国道53号の交通安全対策として、歩道等整備について、地元組織「かわらまち夢つくり委員会」との意見交換により事業計画を策定し工事を実施しました。

Plan 智頭町内の交通安全対策の進め方

- ① 国道53号が智頭町の中心部を走っている
- ② 高速道路姫鳥線の開通（智頭～河原）がH20年に予定され、観光客の増加が見込まれる。
- ③ 多くの地元の方、学生が智頭郵便局～京橋間を利用されている。
- ④ JR智頭駅～智頭宿が一つの観光導線になっている。



智頭郵便局～京橋間を道路利用者（特に歩行者）が快適に利用できるように京橋部の改良に併せ計画した方が得策と考えられる。

Do 意見交換会・対策の実施

第1回 (H18. 10. 11)

- 意見交換会の進め方、スケジュール確認
- 検討範囲、項目、内容の整理
- 道路歩道整備方針の提案、議論、(決定)
- 維持管理への協力体制づくりの検討

第2回 (H18. 11. 30)

第3回 (H19. 1. 25)

- 歩道計画(材料、色彩、施設)の提案、議論、決定
- 工事計画(規制等)の説明

京橋歩道拡幅工事 (H19.1.31～3.28)

第4回 (H19. 4. 5)

- 京橋歩道拡幅完了部の現地点検
- 智頭郵便局前交差点の交通安全対策計画の提案
- 案内看板・サイン設置計画の議論

第5回 (H19. 6. 20)

第6回 (H19. 8. 07)

第7回 (H19. 9. 27)

- 智頭郵便局前交差点交通安全対策の議論、決定
- 京橋交差点歩道改修の議論、決定
- 京橋歩道(上り)の議論、決定
- 維持管理(花壇等)の協力体制の議論
- 工事計画(規制等)の説明

京橋歩道工事ほか (H19.10.9～)



Check・Action

今後の交通事故の発生動向について、引き続き地域と連携し検証していきます。